

かるた取り ますます親し ことばんさん♪
新春かるた大会 初開催

2月24日(土)、隠岐神社にて、第1回隠岐神社杯・後鳥羽院遠島御百首かるた大会が行われ、参加者約20名が真剣に札と向き合いました。

「遠島百首かるた」は、後鳥羽上皇が海士で詠んだ歌集「遠島百首」を百人一首スタイルにした特製かるたで、詠み札に全句と挿絵を、取り札に下の句を書いていきます。平成5年の初版は限定250セットが2カ月足らずで完売しましたが、平成21年、後鳥羽院770年祭に合わせて復刻版が製作されました。



百人一首ならぬ『一人百首』!

今回のかるた大会は、「これを通じて皆さんが後鳥羽院のことを知り、地元愛にもつながっていくように」との思いから後鳥羽院資料館が企画し、海士町短歌同好会が協力して実現したものです。当日は短歌同好会の笹鹿岳志会長が読手を務め、春の歌20首、夏15首、秋20首、冬15首、雑30首を朗々と詠み上げていきました。



勢いよく手を伸ばす皆さん。和気あいあいとした雰囲気の中にも張り詰める緊張感が…。右(→)は、優勝した榊原さんと特別賞の大海匠くん

初代チャンピオンに輝いた榊原信也さんは奇しくも、このかるた製作の発起人の一人。当時から「いつかかるた大会を開きたい」と願っていたそうで、「24年目にしてようやく実現したことがとても嬉しい。10首ほどしか覚えていないのになぜチャンピオンになれたのかまったく不思議で、ことばんさんが僕にご褒美をくれたとしか思えない。こういうのを“神つてる”のかな?」と感無量の様子。

また、後鳥羽院資料館の村尾茂樹さんは、「後鳥羽上皇や隠岐神社は、海士町に暮らす全てのの人にとってのステータスであり、世代や職業、地区を越えた交流を促すきっかけになります。春の綱引大会、夏の盆踊り大会、秋のちびっこ相撲大会、冬(新春)のかるた大会と、隠岐神社の四季の催しがついに揃いました。海士の新春行事として、かるた大会も末永く続けていきたいです」と語っています。

みんなのあまマーレ “表現の場”に

2月25日(日)、あまマーレにて、「あまマーレ感謝祭」が開催されました。4回目となる今回は、遊戯室がシアターに変身。ダンスや演奏、詩吟に演劇など、多彩な出演者が特技を披露しました。屋台ではきりたんぼ風オムライスなどが好評を博したほか、事務所奥のCOFFEE(コーバ)には崎カフエのスイーツがズラリ。絵画やリースなどの作品が展示されたアートな空間で、淹れたての珈琲と美味しい手作りケーキでくつろぐお客の姿が多く見られました。



運営スタッフの一人、ムラー和代さん曰く、「海士町には様々な才能を持った人が大勢いるし、それを見たい人もいる。あまマーレが『表現する場所』になつていけばいいですね。『あの人こんな特技があったとは!』という感動も生まれるし、それによって新たな交流も芽生えます」とのこと。あまマーレでは今後も、アートを中心に様々なワークショップを開催予定ですので、気軽に足を運んでみてください!

元気な海士

パワー溢れる海士人の活動・活躍をご紹介します！

楽しい！美味しい！竹活用 森林スペシャリストが指南



竹筒で焼いたケーキ、プレーンと、海土産のイヌビワジャム入り。カトラリーも竹製！

1月30～31日、隠岐しぜんむらで、里山整備や竹の活用をテーマとした講義と自然体験が行われました。

島に豊富にある竹を放置せず適切に管理し、上手に活用していくにはどうしたらいいか。今回は竹筒を使ってケーキを焼く体験もあり、竹と親しむヒントを学びました。

講師の野田真幹さんは、松江を中心に活動するNPO法人「もりふれ倶楽部」の事務局長で、林業技術師の資格も有するスペシャリストです。里山保全の普及・啓発のため各地で出前講座を行っており、福井小学校でも何度か環境学習を行っています。

初日の講義は、放置竹林の危険性について。放置竹林はその場所にある植生を破壊したり、山火事や土砂崩れの要因になったりするため、(※実際に町の天然記念物のモチノキが放置林の影響で枯れています！)正しい方法で伐りながら継続的に管理していくことが大切です。



竹を伐る！



生地を入れる！



焼けた♪



焼く！

続く2日目は、竹の加工とスイーツ作りにチャレンジ。伐った竹筒で米粉ケーキを焼き、竹の器も作りました。

野田さん曰く、「アウトドアクッキングは竹活用に最適。鉋、鋸、木槌さえあればOKで、竹筒の中身は工夫次第でアレンジは無限です。カレーやリゾットも美味しくできますよ！」とのこと。

参加したしぜんむらの福田さんは、「昔から人は竹と共に生きてきたので、その関係性を復活させたい。竹筒料理はいい体験になりました。春にはたけのこを掘って美味しいだけこの料理をいただくなど、地道な活動を続けていきたいです」と語っています。

竹刀に気合！ 少年剣士

平成29年12月10日、西ノ島町の旧美田小学校体育館において第41回島前少年防犯剣道大会が行われ、少年剣士達が日頃の練習の成果を出し合い名勝負を繰り広げました。試合結果は左の通りです。

(浦郷警察署)

《団体戦》

- 優勝：国賀剣友会 A チーム (富谷太智、梶谷結人、長田快斗)
- 準優勝：国賀剣友会 C チーム (向原颯太、坂春乃、堺翔、小松由奈)
- 三位：国賀剣友会 B チーム (小松和真、堺颯、富谷直生)

《個人戦》

- 5・6年生
 - 優勝：長田快斗(国賀剣友会)
 - 準優勝：堺翔(国賀剣友会)
- 3・4年生
 - 優勝：堺颯(国賀剣友会)
 - 準優勝：坂春乃(国賀剣友会)
 - 三位：岡本太郎(諏訪剣道クラブ)
- 2年生
 - 優勝：富谷太智(国賀剣友会)
 - 準優勝：淀遼人(諏訪剣道クラブ)
 - 三位：仲谷侑馬(諏訪剣道クラブ)



第41回島前少年防犯剣道大会